

公益社団法人 日本給食サービス協会会長賞

『弟と私と給食』

東京都調布市立深大寺小学校 五年三組 女子 大草 佳純

私の学校は、とても給食がおいしいです。旬の食材を使った料理や、全国各地のきょう土料理など、ただ食べるだけでなく、給食を通して学べるようなメニューが出ます。使うお米はその日のメニューに合わせて変えています。毎日、三時間目ごろになると、とてもいいにおいがしてきて、おなかですきます。とどけ！夢ワゴンという通信が毎日給食と一緒に届きます。食材やメニューの説明がのっていて、私はそれがとても楽しみです。給食を食べていると校長先生が来ます。校長先生は、「人がおいしいと感じる塩分のう度は0.8〜1度なんだよ。だしを入れると、塩は少しでもおいしく感じるよ。」

など食べ物のことをおもしろく、分かりやすく教えてくれます。時々校長先生は、野菜のかぶりものをかぶってきます。するとみんなが笑います。私の学校の給食の時間はみんなが笑顔でとても楽しいです。

今年の四月、弟が一年生になりました。弟は卵アレルギーでエピペンをもっています。給食には卵を使ったメニューも出ます。私は給食の時間が少し心配になりました。給食に卵が出る日は、弟が心配で昼休み、弟のクラスに見に行きます。除去食だからあたり前だけど、見に行くと弟は元気でほっとします。私はアレルギーがある子も給食を食べることができて良かったなと思いました。弟は、最初はみんなとちがうトレーやメニューをいやがっていました。自分も食べられるおかずやデザートがあると家でうれしそうに話すようになりました。弟はお店で売っている洋菓子ほとんど食べられません。

「今日のブラウニーおいしかったよね。すっごくおいしかったよね。」
「そうだよね。すっごくおいしかったね。」

と言って弟と二人でもり上がりました。夕飯を食べている時に弟が、
「給食のブラウニーおいしかったから作ってよ。」

とお母さんにお願いとお母さんは、
「作ってみようかな。」

と言ってくれました。弟は、
「四角くて茶色いおいしいやつなんだよ。」

と一生けん命説明していました。
栄養士さんが、アレルギーの子もみんなと同じものが食べられるメニューを考えてくれてありがたいと思いました。こんなにおいしくて楽しい給食が毎日続くといいです。給食を作ってくれる調理員さん、栄養士さん、ありがとうございます。私も弟も給食が大好きです。